



武蔵野

学校だより NO. 10
平成31年 1月号
昭島市立武蔵野小学校
校長 岡部 操

明けましておめでとうございます

— 美しいものに感動する心を大切に —

校長 岡部 操

武蔵野小学校の3学期がスタートしました。各家庭におかれましては、どのように冬休みを過ごされたでしょうか。寒さが続きますので、くれぐれも体調管理にはご注意ください。さて、私事です。昭島の学校に勤務して今年は15年目を迎えます。この間、市内の様々な所を探索しましたが、お気に入りのビュースポットがあるので紹介します。本校前の武蔵野通りを東に行き、東文化通りを右折して南に進むと奥多摩街道と交差するところが和田橋北になります。ここは多摩川の河岸段丘上にあるので南側がよく開けています。天気の良い日はここから富士山が見えますが、身も心も引き締まる思いになります。

以前次のようなことがありました。放課後遅くに帰る子供たちの声が、校庭から聞こえてきました。「わあー、すごい!」「きれいだねえー」外に出てみると、西のマンション辺りの一面が真っ赤に染まっています。見事な夕焼けでした。夕焼け雲も、それを見ていた子供たちの顔も真っ赤に輝いていました。

美しいものは、人を引きつけます。美しいものは、見る人の心を幸せにしてくれます。そして、美しいものは、見る人の心まで美しくしてくれる力があると思います。

私の好きな書家であり詩人である、相田みつを氏は、「美しいものを 美しいと思える あなたの ところが うつくしい」という言葉を残しています。この言葉は校長室の日めくりカレンダーにも記載されていますが、改めてこの言葉の意味を感じさせる出来事でした。

毎日の生活の中で、ふと立ち止まって「周りの美しいものに気付くことができる心」をもちたいなと思いました。夕焼けの美しさに気付く、感動した子供たちの心は素晴らしいかったです。

武蔵野小学校の子供たちが生活しているこの昭島は、まだ身近な所に自然が残っています。保護者の皆様におかれましては、お子様と一緒に美しいものを味わい、お子様の中の「美しい心」を大きく膨らませていただけたらと思います。

学校教育においては、道徳の内容に「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」があり、低・中・高学年ごとに「生命の尊さ」と「自然愛護」の内容項目が設定されています。

子供たちの道徳性は、日々の人間関係の中で培われます。教師と児童の人間関係は相互の信頼が基本になります。そして、子供たちを尊重し受容する態度と、子供たちの成長を願う教育的愛情が求められます。

本年度も教職員一同お子様の成長を願って、教育活動を実践してまいります。昨年同様、保護者や地域の皆様の教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。